

# 總 括 編

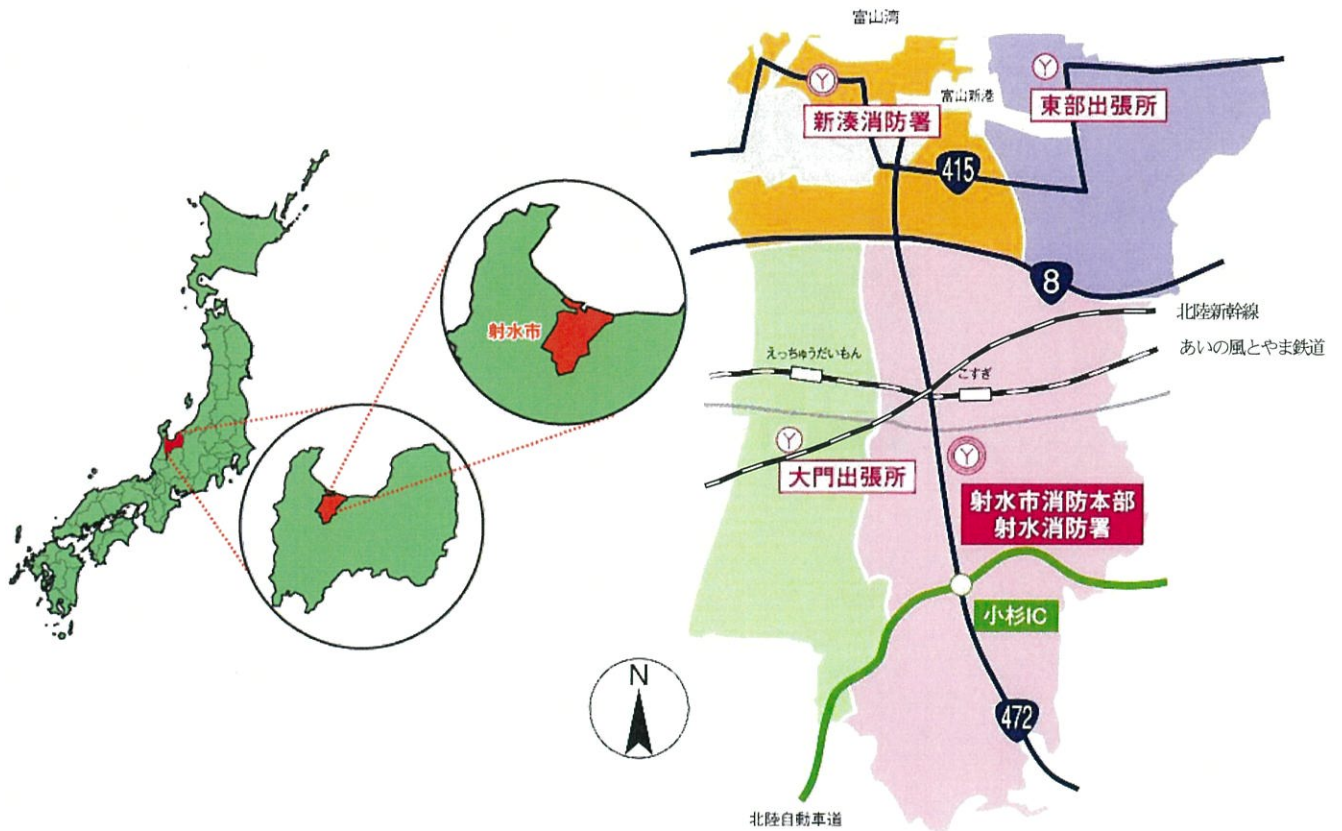
# 1 射水市の概況

## (1) 位置及び面積

射水市は、環日本海交流地点である富山県のほぼ中央に位置しており、市の東は富山市、西は高岡市、南は富山市、砺波市に接し、北は日本海最大の湾である富山湾に面している。

面積 km <sup>2</sup>	距離 (km)		位置		
	東西	南北	方位	地名	経緯度
109.43	10.9	16.6	東端 西端 南端 北端	本江 西広上 水上谷 庄西町一丁目	東経137°11′ " 137°02′ 北緯36°38′ " 36°47′

管内概要図



(2) 市域の変遷及び人口の推移 (平成17年11月1日 1市3町1村が合併し射水市となった。)

平31.4.1現在

年 度	人 口(人)	世 帯 数(世帯)
平成27年度	94,404	33,764
平成28年度	94,147	34,077
平成29年度	93,717	34,462
平成30年度	93,343	34,768
令和元年度	92,867	35,225

※ 平成24年より外国人登録者数、世帯数を含む。

(3) 一般会計予算額と消防予算額との比較

種別	年度	令和元年度 (当初予算)
一 般 会 計		43,145,000千円
消 防 費		1,208,446千円
比 率		2.8%



(4) 消防予算額と人口関係

種別	消防予算額 (単位：千円)	人 口 (人)	市民1人あたりの消防費(円)	世 帯 数 (世帯)	1世帯あたりの消防費(円)
令和元年度	1,208,446	92,867	13,013	35,225	34,306

## 2 射水市消防の誕生

(1) 消防の起源

慶長14年(1609年)、富山の大火に刺激されて旧新湊地内に火消しの組織ができたものと言われているが明らかでなく、史実としては明和年間各町に詰所を作り、2人若しくは8人の詰員をおいたとされる。当時としては周到なものであったと記録されている。

又、射水消防組合設立以前の射水郡内の消防実態は、昭和25年4月以前には管内に消防署はなく、富山県内としても常備消防の数は少なかったが、富山県の指導により小杉町に消防本部(署)が設置された。

一方、旧新湊市は昭和26年に新湊市消防本部が設立された。

射水市消防本部の設置は、市町村合併(1市3町1村)の新市発足と同時に、それまでの射水消防組合消防本部庁舎を市消防本部とし、1本部2消防署2出張所体制でスタート、職員定数は115名となった。各署所には、消防ポンプ車・高規格救急車・救急救命士を配備し管内住民に均一な消防行政を行えるよう配備している。